

# 施設レイアウトツール 操作マニュアル

---

施設図面上に備品や注釈を配置し、レイアウトを作成できるツールです。

作成したレイアウトは保存でき、後から再度読み込むことができます。

また、画像や PDF として出力し、共有や印刷に活用できます。

対応環境：PC / タブレット

掲載先：WEB 掲載用

作成日：令和〇年〇月

## 1. 画面の見方

本ツールの画面は、主に「施設選択」「備品パネル」「操作メニュー」「レイアウトエリア」で構成されています。

### 施設選択

表示する施設図面を選択します。

選択した施設に応じて、背景図面が切り替わります。

### 備品パネル

机、椅子、展示台、パネルなど、配置したい備品を選んで追加します。

備品ごとに残数が表示されるものがあります。

### 操作メニュー

テキストや図形の追加、複製、整列、保存、出力などを行います。

レイアウト作成時に必要な主な操作はここから行います。

### レイアウトエリア

施設図面上に備品や図形、注釈を配置するエリアです。

ここで選択、移動、回転、複数選択などの操作を行います。

## 2. 基本操作

### 備品を配置する

備品パネルから追加したい備品を選ぶと、レイアウトエリアに配置されます。

配置した備品は、後から移動や回転、複製ができます。

### オブジェクトを選択する

配置した備品、テキスト、四角形、円形は、クリックして選択できます。

選択したオブジェクトに対して、移動や削除などの操作を行います。

### オブジェクトを移動する

選択したオブジェクトは、ドラッグして任意の位置に移動できます。

備品配置の微調整や位置合わせに使用します。

### 縦横方向に移動を拘束する

オブジェクトを移動するときに、Shift キーを押しながらドラッグすると、移動方向を縦または横に拘束できます。

位置をまっすぐそろえたい場合に便利です。

### 回転する

選択したオブジェクトは、回転操作で向きを変更できます。

机やステージなど、向きを調整したい場合に使用します。

### 削除する

不要なオブジェクトは、選択して削除できます。

誤って配置した場合は、削除して再度配置してください。

## 3. 複数選択・グループ化・整列

### 複数選択

複数のオブジェクトを選択し、まとめて移動や整列を行うことができます。

椅子や机などを複数まとめて扱いたい場合に便利です。

## グループ化

備品、テキスト、四角形、円形は、複数選択したうえでグループ化できます。

グループ化したオブジェクトは、一体のものとして移動、複製、回転、整列ができます。

## グループ解除

グループ化したオブジェクトは、グループ解除により個別のオブジェクトに戻すことができます。

## 整列

複数のオブジェクトを選択すると、左揃え、上揃え、等間隔配置などの整列操作ができます。

グループ化されたオブジェクトも、ひとまとまりとして整列できます。

## 行列複製

「行列複製（縦×横）移動間隔は備品の間隔を入力」を使うと、複数のオブジェクトを縦横方向に規則的に複製できます。

机や椅子を整然と並べたい場合に便利です。

## 注意

寸法線と引き出し線は、グループ化の対象外です。

## 4. テキスト・図形・注釈の追加

### テキストを追加する

任意の文字を入力し、図面上に注記として配置できます。

レイアウトの説明や補足事項の記載に使用します。

### 四角形を追加する

メニューの「四角形追加」から、四角形を配置できます。

塗り色を指定して、エリアの区分や注意箇所の表示に活用できます。

### 円形を追加する

メニューの「円形追加」から、円形を配置できます。

四角形と同様に、塗り色を指定して使用できます。

### 引き出し線を追加する

注釈用のテキストから対象物へ向けて、矢印付きの引き出し線を追加できます。

備品やエリアに対する説明を示したい場合に使用します。

### 寸法線を追加する

任意の 2 点を指定して、寸法線を追加できます。

距離や間隔を視覚的に示したい場合に使用します。

## 5. 保存・出力

### レイアウト保存

作成したレイアウトは保存できます。

保存したデータは、後から再度読み込んで編集することができます。

### レイアウト読込

保存したレイアウトデータを読み込むことで、以前作成した配置を再利用できます。

継続的に利用するレイアウトの管理に便利です。

### 画像出力（JPEG：軽量）

現在のレイアウトを画像として出力できます。

共有用や確認用の資料作成に適しています。

### PDF 出力（A4 印刷用）

現在のレイアウトを PDF として出力できます。

印刷配布や提出用資料として利用できます。

## 6. ご利用時の注意

備品、テキスト、四角形、円形は選択、移動、複製、グループ化ができます。

寸法線、引き出し線はグループ化の対象外です。

公開版では、ローカル読込機能は表示していません。

タブレットでは、PC と一部操作感が異なる場合があります。

操作を誤った場合は、不要なオブジェクトを削除し、必要に応じて再配置してください。